

令和5年度地域懇談会(上)



1～11区の実施状況

9区の地域懇談会＝7月7日

■問い合わせ先…まちづくり推進課 ☎46-5578

町長が全行政区に向いて町民の皆さんと意見交換する地域懇談会を、6月1日から8月10日にかけて各地の公民館などで開催しました。空き家問題や東稲山麓地域の日本農業遺産認定、本年度配置した地域おこし協力隊の活動について町長や役場職員が現状を報告。参加した町民の皆さんと、さまざまな町政課題について意見を交わしました。寄せられた質問や意見について、2回に分けて紹介します。今回は、1～11区での主な内容を掲載します。

主な質問・意見

■【1区】(6月1日)

Q 町学習交流施設「エピカ」の開館から1年、スマートインターチェンジ(IC)の完成から2年となるが、活用状況と今後の活用方針は。

A エピカは利用者から好評で、旧施設より利用者は増えていきます。引き続き運営協議会でニーズを把握し、より良い運営を目指します。スマートICは当初計画の利用台数に届いていませんが、多くの利用があります。1100台の駐車場の有効活用と周辺の開発により、町の新たな拠

点づくりを目指します。

■【2区】(6月2日)

Q 町の坂下分譲地に3組の家族が移住してくれて大変良かった。空き家も移住などに活用してほしい。

A 町有地を活用した分譲地は売れました。今後も遊休町有地を活用し、人口減少対策となる事業に取り組みます。空き家の活用についても、所有者の協力を得ながら活用を進めます。

■【3区】(6月19日)

Q コミュニティバスの利用状況は。停留所がごみ集積所だが、屋根がある場所がよい。

A 平均で1便当たり2～3人が利用していま

す。バス停は、住民の方が常に利用するごみ集積所に設置しましたが、地域の総意であれば、国交省の許可を得た上で移動は可能です。また、ルート上であれば、バス停でなくてもどこでも乗降できます。



町内を運行するコミュニティバス

■【4区】(6月21日)

Q 学校給食の無償化は考えているか。観光税で財源を確保できないか。

A 当町で無償化した場合、年間2650万円の財源が必要です。無償化は国での検討が見込まれているため、その動向を注視し、町の財源などについて調査検討を進めます。

■【5区】(6月23日)

Q 1、2月の「自分の農地の未来を考える座談会」の参加者が多く、関心が高いと感じた。5年後の農業が見えない状況であり、国はもっと農業に力を入れるべき。町の農業も日本農業遺産の認定で盛り上がってほしい。



日本農業遺産に認定された東稲山麓地域

A 令和6年度末までに農地ごとに今後誰が耕作していくのか計画を作ることになっていきます。町は皆さんの話し合いの中に入って相談しながら進めます。農業機械が壊れたら農業を辞めるという声があり

ましたので、少しでも継続してもらえよう、機械購入の補助事業を本年度始めました。ヤーコンなど、若い世代も興味を持てる新しい取り組みを進めます。

■【6区】(6月26日)

Q 空き家バンクで購入する人は外国人でも構わないのか。

A 町として外国人は駄目という考えはありません。町は直接売買や賃貸の仲介はできないため、仲介は町と協定を締結している宅建取引業者が行いますが、誰に売めるかは所有者の判断となります。

■【7区】(7月3日)

Q 町人口が7千人を切ったが、今後の見通しは。

A 町は人口ビジョンを策定しており、2040年に5400人と想定しています。減少を緩やかにするため、企業誘致や農業振興、スマートIC周辺開発などの対策に取り組みます。

■【8区】(6月16日)

Q 道の駅平泉の利用状況は。近隣にある人気の道の駅を参考にするなどして活性化してほしい。

A 利用者数は、コロナ禍前にほぼ戻ってきました。道路利用者や観光客の利用が多いですが、地元の方にも利用してもらえよう、奥州市水沢の「産直来夢くん」で人気の海産物の取り扱いやレストランの看板メニュー作りを進めており、まだまだ集客は見込めると考えています。人気の道の駅は共通して目玉になるものがありますので、道の駅平泉ならではの魅力づくりに継続して取り組みます。



道の駅平泉

■【9区】(7月7日)

Q 新型コロナウイルス感染症(の感染症法上の分類)が5類になり、町は今後どう対応するのか。

A 保健所や関係機関と定期的に情報交換し、入院患者数や病床使用数などの状況を把握しています。最新の対策については、町広報やチラシでお知らせしていきます。役場では毎週月曜日にコロナ対策会議を開き状況を共有しているほか、職員は来庁者対応時にマスクを着用しています。職員が同時に感染して業務が止まらないよう、検査キットを効果的に活用しています。

■【10区】(7月10日)

Q 観光客が巡回バスをのんびり利用することで、街中の商店の売り上げにつながる。街中を歩くようにしたほうが良いのではないかと。現在、のんびり土日祝日のみ運行しています。観光客は巡回バスの

ほか、レンタサイクルや街歩きなど、自分のニーズに合った形で観光しています。今後も街歩きしてもらえようように取り組みたいです。

■【11区】(7月11日)

Q 子どもたちの遊び場が少ない。公園がない中で、学校の校庭を開放し、遊び場として活用できるように積極的に情報発信してほしい。

A 校庭は放課後や土日など、子どもたちは自由に使用できます。一方で、学校の安全・安心を確保しなければならぬため、誰でも使えるような周知は積極的には行っていません。公園の整備については、特に子育て世代から要望が多いことから、史跡公園を金鶏山付近に検討しているほか、遊具がある公園の設置をスマートIC周辺開発の中で検討しています。

※12、21区分は、次号に掲載予定です。